



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月7日

上場会社名 株式会社グルメ杵屋
コード番号 9850 URL <https://www.gourmet-kineya-hd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表執行役社長 CEO (氏名) 椋本 充士

問合せ先責任者 (役職名) 管理部門担当執行役 CFO (氏名) 藤本 昌信

TEL 06-6683-1222

四半期報告書提出予定日 2023年11月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	16,811	28.8	287		323		434	
2023年3月期第2四半期	13,048	35.3	592		620		809	

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 377百万円 (%) 2023年3月期第2四半期 767百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	18.99	
2023年3月期第2四半期	35.37	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	38,852	8,216	20.8	352.80
2023年3月期	38,828	7,838	19.8	335.94

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 8,069百万円 2023年3月期 7,684百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		0.00	0.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期の配当予想につきましては未定であります。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,466	22.0	28		51		422		18.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 株式会社壺番亭本部

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	22,910,275 株	2023年3月期	22,910,275 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年3月期2Q	36,250 株	2023年3月期	36,144 株
------------	----------	----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	22,874,081 株	2023年3月期2Q	22,874,131 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因により、これからの予測数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の分類が5類へと移行したこと等に伴い、経済活動の正常化を背景に人流及びインバウンド需要も増加し、景気は緩やかに回復してきております。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化等からエネルギーや原材料価格など物価の上昇に加え、世界的な金融引き締め等による海外景気の下振れリスク等もあり、先行きは依然不透明な状況となっております。

外食産業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響は収まったものの、継続する原材料、光熱費等様々なコストの上昇、さらに人手不足による人件費の増加など、引き続き厳しい経営環境が継続しております。

このような状況の中、当社グループはグループ一丸となって事業収益のV字回復を果たすため、戦略構築と実行を徹底し、企業風土の変革を希求してまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高168億11百万円（前年同期比37億62百万円増）、営業損失2億87百万円（前年同期は営業損失5億92百万円）、経常損失3億23百万円（前年同期は経常損失6億20百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億34百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失8億9百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

(レストラン事業)

レストラン事業においては、EBITDA（償却前利益）とROI（投資回収率）を重視し、利益が見込める新規出店に投資を集中する方針のもと、7月及び8月には住宅街に大型の路面店を出店致しました。既存店舗においては人流の回復やインバウンド需要の再開により売上は順調に回復しております。また、店長のKPI評価や労働生産性プロジェクトを導入し省人化等の業務改善も推進しております。

その結果、新店はそば部門の「おらが蕎麦」3店舗、アジア部門その他の「シジャン」5店舗、「solege」2店舗、「ゆきむら亭」2店舗の合計12店舗であります。業態変更は5店舗、退店は10店舗であります。この結果、当第2四半期連結会計期間末におけるレストラン事業の店舗数は、36都道府県に405店舗（フランチャイズ店舗95店舗を含む）となりました。

以上の結果、レストラン事業の売上高は114億13百万円（前年同期比21.4%増）、セグメント利益2億82百万円（前年同期は1億8百万円の損失）となりました。

(機内食事業)

㈱エイエイエスケータリングにおいては、中国便等の国際線の航空需要が回復途上のため搭載食数の回復が遅れていることから、増収ではありますが賃借料等のコスト増により減益となりました。

以上の結果、機内食事業の売上高は14億50百万円（前年同期比151.5%増）、セグメント損失3億33百万円（前年同期は1億50百万円の損失）となりました。

(業務用冷凍食品製造事業)

㈱アサヒウェルネスフーズにおいては、冷凍弁当及び季節品のおせち等の製造が増加したことから増収増益となりました。

以上の結果、業務用冷凍食品製造事業の売上高は21億72百万円（前年同期比53.9%増）、セグメント損失1億15百万円（前年同期は1億35百万円の損失）となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業においては、大阪木津卸売市場の入居率はほぼ前年同期並みではありますが修繕費等のコスト増により減収減益となりました。

以上の結果、不動産賃貸事業の売上高は3億44百万円（前年同期比0.1%減）、セグメント利益1億20百万円（前年同期は1億23百万円の利益）となりました。

(運輸事業)

水間鉄道㈱においては、沿線地域でのイベントの開催等に取り組むことで旅客数が増加し、増収増益となりました。

以上の結果、運輸事業の売上高は2億10百万円（前年同期比6.5%増）、セグメント損失18百万円（前年同期は21百万円の損失）となりました。

(その他)

大阪木津卸売市場で展開しております水産物卸売事業は、魚介の卸売数量が増加したことから増収増益となりました。日本食糧卸売㈱で展開しております米穀卸売事業は、米の販売数量は増加しましたが炊飯事業の販売数量の減少や材料費の増加等により増収減益となりました。

以上の結果、その他の売上高は12億20百万円（前年同期比9.6%増）、セグメント損失41百万円（前年同期は9百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は167億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億95百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金5億92百万円の減少、売掛金4億51百万円の増加、商品及び製品11億33百万円の増加によるものであります。固定資産は220億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億71百万円減少いたしました。これは主に土地4億83百万円及び投資有価証券3億円の減少によるものであります。

この結果、総資産は、388億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は89億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億76百万円増加いたしました。これは主に短期借入金13億40百万円の増加及び1年内返済予定の長期借入金2億26百万円の減少によるものであります。固定負債は216億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億30百万円減少いたしました。これは主に長期借入金14億66百万円の減少によるものであります。

この結果、負債合計は、306億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億53百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は82億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億77百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益4億34百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は20.8%（前連結会計年度末は19.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月12日に発表いたしました連結業績予想の数値から変更を行っております。詳細は別途本日開示いたしました「2024年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,583,388	11,990,541
預け金	481,206	451,948
売掛金	1,488,036	1,940,008
商品及び製品	456,277	1,589,722
原材料及び貯蔵品	319,143	349,356
短期貸付金	179	59
未収入金	288,577	85,785
未収消費税等	21,788	146,555
その他	163,423	243,380
貸倒引当金	△1,261	△1,235
流動資産合計	15,800,758	16,796,123
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,341,330	28,214,287
減価償却累計額	△21,063,465	△21,181,489
建物及び構築物(純額)	7,277,864	7,032,798
機械装置及び運搬具	3,296,267	3,299,110
減価償却累計額	△2,439,428	△2,497,197
機械装置及び運搬具(純額)	856,839	801,912
工具、器具及び備品	1,985,256	2,067,666
減価償却累計額	△1,576,591	△1,592,662
工具、器具及び備品(純額)	408,665	475,003
土地	8,210,084	7,726,211
建設仮勘定	74,587	74,966
有形固定資産合計	16,828,041	16,110,892
無形固定資産		
のれん	262,738	230,019
その他	60,413	91,445
無形固定資産合計	323,152	321,465
投資その他の資産		
投資有価証券	1,223,293	922,463
長期貸付金	116,607	167,067
差入保証金	4,402,066	4,346,059
繰延税金資産	32,079	65,217
その他	120,982	141,270
貸倒引当金	△18,438	△18,438
投資その他の資産合計	5,876,589	5,623,639
固定資産合計	23,027,784	22,055,997
資産合計	38,828,543	38,852,120

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,137,694	1,164,257
短期借入金	500,000	1,840,000
1年内返済予定の長期借入金	3,372,602	3,145,889
未払金	535,610	385,163
未払費用	1,237,000	1,422,628
未払法人税等	27,035	87,704
未払消費税等	384,508	270,704
賞与引当金	134,731	115,661
資産除去債務	88,831	91,908
その他	391,370	462,172
流動負債合計	7,809,385	8,986,089
固定負債		
長期借入金	19,522,999	18,056,624
長期未払金	8,056	8,056
繰延税金負債	1,464,135	1,423,534
退職給付に係る負債	120,833	89,427
資産除去債務	1,285,808	1,311,926
その他	778,347	760,268
固定負債合計	23,180,180	21,649,837
負債合計	30,989,565	30,635,927
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	12,534,726	8,345,313
利益剰余金	△5,103,525	△479,620
自己株式	△35,381	△35,493
株主資本合計	7,495,820	7,930,199
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	185,095	120,489
為替換算調整勘定	3,963	19,528
退職給付に係る調整累計額	△530	△286
その他の包括利益累計額合計	188,527	139,732
非支配株主持分	154,628	146,262
純資産合計	7,838,977	8,216,193
負債純資産合計	38,828,543	38,852,120

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	13,048,817	16,811,775
売上原価	8,107,817	10,743,823
売上総利益	4,940,999	6,067,951
販売費及び一般管理費	5,533,102	6,355,054
営業損失(△)	△592,102	△287,102
営業外収益		
受取利息	479	2,466
受取配当金	22,581	29,464
投資有価証券売却益	-	70
賃貸料収入	86,895	76,653
その他	47,012	39,289
営業外収益合計	156,968	147,944
営業外費用		
支払利息	87,649	85,292
借入手数料	1,000	1,000
賃貸費用	57,905	39,064
持分法による投資損失	22,494	45,402
その他	16,697	13,760
営業外費用合計	185,747	184,519
経常損失(△)	△620,881	△323,677
特別利益		
固定資産売却益	-	689,720
投資有価証券売却益	-	173,724
助成金収入	57,750	2,567
受取補償金	85,160	-
保険解約益	50,117	-
その他	1,095	-
特別利益合計	194,123	866,011
特別損失		
固定資産除却損	45,865	5,987
減損損失	6,588	5,017
投資有価証券評価損	-	999
新型コロナウイルス感染症による損失	360,738	-
その他	4,732	-
特別損失合計	417,924	12,005
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△844,682	530,328
法人税等	△34,713	110,106
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△809,968	420,221
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△917	△14,269
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△809,051	434,491

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△809,968	420,221
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,832	△66,406
為替換算調整勘定	30,209	22,744
退職給付に係る調整額	174	244
持分法適用会社に対する持分相当額	7,104	554
その他の包括利益合計	42,320	△42,863
四半期包括利益	△767,648	377,358
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△777,648	385,695
非支配株主に係る四半期包括利益	10,000	△8,337

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△844,682	530,328
減価償却費	515,953	517,112
減損損失	6,588	5,017
のれん償却額	32,719	32,719
長期前払費用償却額	11,472	14,766
賞与引当金の増減額(△は減少)	△304	△19,069
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△18	△26
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,185	△31,160
受取利息及び受取配当金	△23,060	△31,930
支払利息	87,649	85,292
助成金収入	△57,750	△2,567
受取補償金	△85,160	-
保険解約損益(△は益)	△50,117	-
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△173,724
持分法による投資損益(△は益)	22,494	45,402
固定資産除却損	45,865	5,987
固定資産売却損益(△は益)	-	△689,720
売上債権の増減額(△は増加)	△299,961	△421,894
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,051,280	△1,163,658
仕入債務の増減額(△は減少)	82,079	26,563
未払費用の増減額(△は減少)	21,627	186,758
未収消費税等の増減額(△は増加)	△120,219	△124,766
未払消費税等の増減額(△は減少)	△48,229	△113,804
長期未払金の増減額(△は減少)	△300,000	-
その他	△11,922	5,175
小計	△2,067,444	△1,317,199
利息及び配当金の受取額	23,060	31,930
利息の支払額	△87,707	△85,718
助成金の受取額	866,787	28,556
補償金の受取額	85,160	-
法人税の支払額または還付額(△は支払)	△227,166	113,366
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,407,310	△1,229,064
投資活動によるキャッシュ・フロー		
補助金の受取額	82,905	24,282
有形固定資産の取得による支出	△604,698	△849,609
無形固定資産の取得による支出	△2,973	△46,272
長期前払費用の取得による支出	△1,555	△34,756
店舗撤去に伴う支出	△54,967	△14,693
有形固定資産の売却による収入	-	1,555,244
投資有価証券の売却による収入	115,882	352,180
貸付けによる支出	△57,747	△845
貸付金の回収による収入	1,501	119
差入保証金の差入による支出	△54,854	△53,333
差入保証金の回収による収入	126,156	58,193
保険積立金の払戻による収入	402,587	-
その他	985	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△46,778	990,510

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	930,000	1,340,000
長期借入れによる収入	287,800	89,000
長期借入金の返済による支出	△1,796,413	△1,783,087
社債の償還による支出	△30,000	-
配当金の支払額	△224	△315
自己株式の取得による支出	-	△112
財務活動によるキャッシュ・フロー	△608,838	△354,515
現金及び現金同等物に係る換算差額	246	222
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,062,679	△592,847
現金及び現金同等物の期首残高	12,425,796	12,583,388
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,363,116	11,990,541

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第2四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった(株)壺番亭本部は、同じく当社の連結子会社である(株)雪村を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。なお、存続会社である(株)雪村は、合併後に(株)ゆきむら壺番亭に商号変更しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年6月27日開催の当社株主総会において、会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金を繰越利益剰余金に振り替えることにより、繰越利益剰余金の欠損額の補填に充当することを内容とする剰余金の処分を行うことを決議し、同日付で処分を実施いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、資本剰余金が4,189,413千円減少し、利益剰余金が同額増加しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン 事業	機内食 事業	業務用冷凍 食品製造 事業	不動産 賃貸事業	運輸事業	計				
売上高										
一時点で移転される財	9,403,963	576,680	1,411,623	—	104,129	11,496,397	1,113,964	12,610,362	—	12,610,362
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—	—	93,768	93,768	—	93,768	—	93,768
顧客との契約から生じる収益	9,403,963	576,680	1,411,623	—	197,898	11,590,166	1,113,964	12,704,130	—	12,704,130
その他の収益	—	—	—	344,686	—	344,686	—	344,686	—	344,686
外部顧客に対する売上高	9,403,963	576,680	1,411,623	344,686	197,898	11,934,853	1,113,964	13,048,817	—	13,048,817
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	4,836	6,318	—	14,996	26,151	335,863	362,015	△362,015	—
計	9,403,963	581,517	1,417,942	344,686	212,894	11,961,004	1,449,828	13,410,832	△362,015	13,048,817
セグメント利益又は損失(△)	△108,342	△150,539	△135,606	123,930	△21,095	△291,653	△9,599	△301,253	△290,848	△592,102

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業及び米穀卸売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△290,848千円は、主に各報告セグメントに配分していない

- 全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
4. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン 事業	機内食 事業	業務用冷凍 食品製造 事業	不動産 賃貸事業	運輸事業	計				
売上高										
一時点で移転される財	11,413,442	1,450,213	2,172,463	—	114,930	15,151,050	1,220,440	16,371,490	—	16,371,490
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—	—	95,791	95,791	—	95,791	—	95,791
顧客との契約から生じる収益	11,413,442	1,450,213	2,172,463	—	210,721	15,246,841	1,220,440	16,467,282	—	16,467,282
その他の収益	—	—	—	344,492	—	344,492	—	344,492	—	344,492
外部顧客に対する売上高	11,413,442	1,450,213	2,172,463	344,492	210,721	15,591,334	1,220,440	16,811,775	—	16,811,775
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	22,423	5,610	—	16,853	44,888	463,483	508,372	△508,372	—
計	11,413,442	1,472,637	2,178,074	344,492	227,575	15,636,222	1,683,924	17,320,147	△508,372	16,811,775
セグメント利益又は損失(△)	282,567	△333,483	△115,388	120,101	△18,104	△64,307	△41,542	△105,850	△181,252	△287,102

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業及び米穀卸売事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△181,252千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
4. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。